学校番号	1009

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語理解	2	第二学年	なし

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

NET の先生と T.T で授業を行います。そのため授業はオール・イングリッシュで行われます。
この授業では４技能５領域（聞く・読む・話す(やりとり)・話す(発表)・書く）の活動がたくさん入っているので、総合的な英語の力を着実に身につけていきましょう。
授業内では活動的なアクティビティ等が多いので、積極的な参加が必要です。
宿題も多く課されます。授業内で行ったことに対する復習が主な宿題になることが多いので授業にしっかり取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	□ はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる □ 日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができ。 □ ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる	□ 見聞きしたことがある出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握できる □ 簡単な語や表現を使って書かれた英文を、一定時間内に黙読して要点を理解し、適切なフレーズのかたまりを意識して音読することができる	□ 簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる □ 日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる	□ 身近なトピックに関して、準備をしたうえで、スライドなどの視覚補助を用いて、1分程度のスピーチができる。その際には具体的な理由を添えて自分の意見を述べることができる	□ 身近なトピックや聞いたり読んだりした内容について、つなぎ語や簡単な語句や表現を用いて、短い説明文や感想を書くことができる

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	**activities;** Introducing Presentation Listening activities Writing activities	聞くこと	a: 英語での指示や生徒同士が話す英語を理解し場面や内容に応じて活用することができる。 b: さまざまな場面に応じて、話し手の意図を聞き取り活用することができる。 c: 話し手の意図を理解しようとする姿勢を持ち、意図を理解し自ら行動することができる。	授業内テスト
		読むこと	a: 語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めながら、内容を読み取ることができる。 b: 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考え、要点をくみとることができる。 c: 自ら読む姿勢を持ち、さらに自ら内容を深化する行動ができる。	授業内テスト
		書くこと	a:与えられたトピックに対して語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し英文を作成することができる。 b: 与えられたトピックについて、英語で要点、考えをまとめ読み手に意図を伝えることができる。 c: 読む内容を自ら読む姿勢を持ち、さらに自ら内容を深化する行動ができる。	宿題 授業内テスト
		話すこと （発表）	a: 与えられたトピックに対し語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し発表することができる。 b: 与えられたトピックに対し聞き手が理解することができるように発表することができる。 c:聞き手が理解することができるように配慮しながら発表する姿勢がある。	パフォーマンステスト
2	**activities;** Presentation Listening activities Writing activities	聞くこと	a: 英語での指示や生徒同士が話す英語を理解し場面や内容に応じて活用することができる。 b: さまざまな場面に応じて、話し手の意図を聞き取り活用することができる。 c: 話し手の意図を理解しようとする姿勢を持ち、意図を理解し自ら行動することができる。	授業内テスト
		読むこと	a: 語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めながら、内容を読み取ることができる。 b: 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考え、要点をくみとることができる。 c: 自ら読む姿勢を持ち、さらに自ら内容を深化する行動ができる。	授業内テスト
		話すこと （やり取り）	a: 与えられた内容を理解し、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し表現することができ、また相手が伝えていることを理解することができる。 b: 与えられた内容を聞き、自分の意見を論理的に表現することができる。また相手の反応に応じて、異なる語彙・文法を用い話すことができる。 c:自分の意見を相手に伝えることができる姿勢を持ち、相手が伝えたことに対し、しっかりと意図や内容をくみとる姿勢を持ち意見を交換することができる。	パフォーマンステスト
		話すこと （発表）	a: 与えられたトピックに対し語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し発表することができる。 b: 与えられたトピックに対し聞き手が理解することができるように発表することができる。 c:聞き手が理解することができるように配慮しながら発表する姿勢がある。	パフォーマンステスト
		書くこと	a:与えられたトピックに対して語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し英文を作成することができる。 b: 与えられたトピックについて、英語で要点、考えをまとめ読み手に意図を伝えることができる。 c: 読む内容を自ら読む姿勢を持ち、さらに自ら内容を深化する行動ができる。	宿題 授業内テスト
3		聞くこと	a: 英語での指示や生徒同士が話す英語を理解し場面や内容に応じて活用することができる。 b: さまざまな場面に応じて、話し手の意図を聞き取り活用することができる。 c: 話し手の意図を理解しようとする姿勢を持ち、意図を理解し自ら行動することができる。	授業内テスト

	activities; Presentation Listening activities Writing activities	読むこと	a: 語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めながら、内容を読み取ることができる。 b: 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考え、要点をくみとることができる。 c: 自ら読む姿勢を持ち、さらに自ら内容を深化する行動ができる。	授業内テスト
		話すこと (やり取り)	a: 与えられた内容を理解し、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し表現することができ、また相手が伝えていることを理解することができる。 b: 与えられた内容を聞き、自分の意見を論理的に表現することができる。また相手の反応に応じて、異なる語彙・文法を用い話すことができる。 c:自分の意見を相手に伝えることができる姿勢を持ち、相手が伝えたことに対し、しっかりと意図や内容をくみとる姿勢を持ち意見を交換することができる。	パフォーマンステスト
		話すこと (発表)	a: 与えられたトピックに対し語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し発表することができる。 b: 与えられたトピックに対し聞き手が理解することができるように発表することができる。 c:聞き手が理解することができるように配慮しながら発表する姿勢がある。	パフォーマンステスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度